

やってみよう

「ああ、そう式だ。」と、ごんは思いました。  
「兵十のうちのだれかが死んだんだろう。」

お昼をすぎると、ごんは、村の墓地へ行って、六じぞうさんのかげにかくれていました。いいお天気で、遠くの向こうには、アおしろの屋根がわらが光っています。墓地地には、ひがんばなが、赤いきれのように、さき続いています。と、村の方から、カーン、カーンと、かねが鳴ってきました。そう式の出る合図です。やがて、白い着物を着たそう列の者たちがやってくるのが、ちらちら見え始めました。話し声も近くなりました。そう列は墓地へ入ってきました。人々が通ったあとには、ウひがんばながふみおられていました。

ごんは、のび上がってみました。兵十が、白いかみしもを着けて、いはいをささげています。いつもは、赤いさつまいもみたいな元気のいい顔が、エ今日は、何だかしおれていました。

(新美南吉「ごんぎつね」より)

上の文章を読んで次の問いに答えましょう。

【1】音を表す言葉（擬音語）を文中から書き抜きましょう。

また、その音が意味するものが何なのか、文中から抜き出して書きましょう。

音を表す言葉

この音が意味するもの

【2】次のことが分かる文は線ア、エのどれですか。ふさわしいと思う文の記号を書きましょう。

そう列の者たちがごんの方に近づいている。

元気がなくしている兵十

【3】じぞうさんのかげから、ごんが、見ているものを、順に書き出しましょう。

物語での描写は、語り手や登場人物の視点から、場面の様子や登場人物の気持ちや言葉を文にしたものです。  
ここでは、五感（目・耳・鼻・口・手など）を使った描写から、場面の様子や登場人物の気持ちや味わいながら読んでみましょう。



どんな		何・だれ	
① 光っている		おしろの屋根がわら	
②		ひがんばな	
③		そう列の者たち	
④		ひがんばな	
⑤ 白いかみしもを着けて、いはいをささげている		(兵十の) 顔	
⑥			

# こたえと説明

## やってみよう

「ああ、そう式だ。」と、ごんは思いました。

「兵十のうちのどれかが死んだんだろう。」

お昼をすぎると、ごんは、村の墓地へ行って、六じぞうさんのかげにかくれていました。いいお天気で、遠くの向こうには、アおしろの屋根がわらが光っています。墓地には、ひがんばなが、赤いきれのように、さき続いています。と、村の方から、カーン、カーンと、かねが鳴ってきました。そう式の出る合図です。やがて、白い着物を着たそう列の者たちがやってくるのが、ちらちら見え始めました。イ話し声も近くなりました。そう列は墓地へ入ってきました。人々が通ったあとには、ウひがんばながふみおられていました。ごんは、のび上がってみました。兵十が、白いかみしもを着けて、いはいをさざげています。いつもは、赤いさつまいもみたいな元気のいい顔が、エ今日は、何だかしておれていました。

(新美南吉「ごんぎつね」より)



【1】音を表す表現(擬音語)を見つけ、それが意味するものを問う問題です。音を表す表現はカタカナで書くため見つけやすいですね。この音がその式の出る合図ということですから、その音のひびきを自分なりに想像しながら読むといいでしょう。

【2】①話し声が近くなるというとは、聞く側(ごん)に近くなっているということがわかります。

②おれるとは花の元気がなくなるときに使う言葉です。兵十の様子を花に例えて表現しているんですね。

【3】ごんの視点から見えるものとして書かれた描写を読み取る問題です。大変よい天気の中に、ひがんばなの赤と着物の白が引き立っていますね。たいへんきれいな描写ですが、ひがんばなはこのあとふみおられてしまいます。同じように赤いさつまいもみたいに元気な兵十の顔もおれていて、ごんから見たらどちらかわいそうと気持ちになっただけではないでしょうか。

上の文章を読んで次の問いに答えましょう。

【1】音を表す言葉(擬音語)を文中から書き抜きましょう。

また、その音が意味するものは何なのか、文中から抜き出して書きましょう。

音を表す言葉

**カーン、カーン**

その音が意味するもの

## そう式の出る合図

【2】次のことが分かる文は線ア、エのどれですか。記号を書きましよう。

① そう列の者たちがごんの方に近づいている。

(イ)

② 元気がなくしている兵十

(エ)

【3】じぞうさんのかげから、ごんが、見ているものを、順に書き出しましょう。

どんな	何・だれ
① 光っている	おしろの屋根がわら
② <b>赤いきれのよつにさき続</b> <b>つづる</b>	ひがんばな
③ <b>白い着物を着た</b>	そう列の者たち
④ <b>ふみおられていた</b>	ひがんばな
⑤ 白いかみしもを着けて いはいをさざげている	<b>兵十</b>
⑥ <b>何だかしておれている</b>	(兵十の) 顔